

つながるなよろ・つなげるメディア No.18

まち知る紹介⑥ ～かるたで名寄の魅力再発見～

本コーナーでは、コロナ禍においても様々な工夫をしながら活動を展開している団体等をご紹介します。6回目となる今回は「一般社団法人名寄青年会議所」(以下名寄JC)をご紹介します。

青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現に向けて、地域の発展に寄与する活動を行う団体として、20歳から40歳までの会員で構成されます。

名寄JCでは例年、なよろ雪質日本一フェスティバルやてっし名寄まつりなど地域で開催されるイベントの支援事業やまちづくり・青少年事業など様々な活動を行っており、現在は16名の会員で活動しています。

今年名寄JCは創立65周年を迎える記念の年でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、記念式典は規模を縮小しての開催、また、企画していた記念事業も中止となるなど活動に影響を受けました。

そのような中、名寄JCではマスク不足の時期には市民に向け不要なマスクの回収を呼びかけ、回収した1,250枚のマスクを名寄市教育委員会へ寄贈したり、LINEを利用した「グルメbot名寄版」を作成し、市民が手軽にテイクアウトやデリバリーができる飲食店を検索できるようにするなど、コロナ禍に対応した様々な活動を行ってきました。

また、名寄の魅力を再発見し、市民に向けて発信するための企画として、現在「なよろ魅力かるた(仮)」を作成しています。なよろ観光まちづくり協会が市民向けに行った名寄市の魅力を聞くアンケートの結果を基に、名寄の観光地や文化、食等を紹介する内容となっています。この五十音分の名寄の魅力が詰まった新しいかるたは、12月中に完成し、市内保育所・小学校等に寄贈する予定で、名寄の子どもたちにこれまで知らなかった名寄の良いところや美味しいものなどを知ってもらう機会となることを期待しています。

今後も名寄JCは、コロナ禍においても様々な工夫をし、市民の皆様が“明るい豊かな”生活を送っていただけるような社会を目指し活動を進めていきます。

このコーナーでは「つながるなよろメッセージ」としてお子さんからのメッセージをメールにて募集しています。

なかなか会えない親戚や友人へラジオや新聞をとおしてメッセージを送りませんか。詳細は名寄社協ホームページ等でご確認ください。

■エフエムなよろ放送日 第1・第3火曜9:30~9:40/17:40~17:50

■名寄新聞・北都新聞掲載日 第1・第3水曜

名寄社協HP QRコード

名寄社協LINE QRコード

■問い合わせ・応募先

名寄市社会福祉協議会 地域支援係

〒096-0011

名寄市西1条南12丁目 名寄市総合福祉センター

電話：01654-3-9862 F A X：01654-3-9949

E-mail：chiiki@nayoro-shakyo.jp



つながるなよろメッセージ

「ちせき、いつき また今度遊ぼうね！」

岩本 和久(わく) 5歳